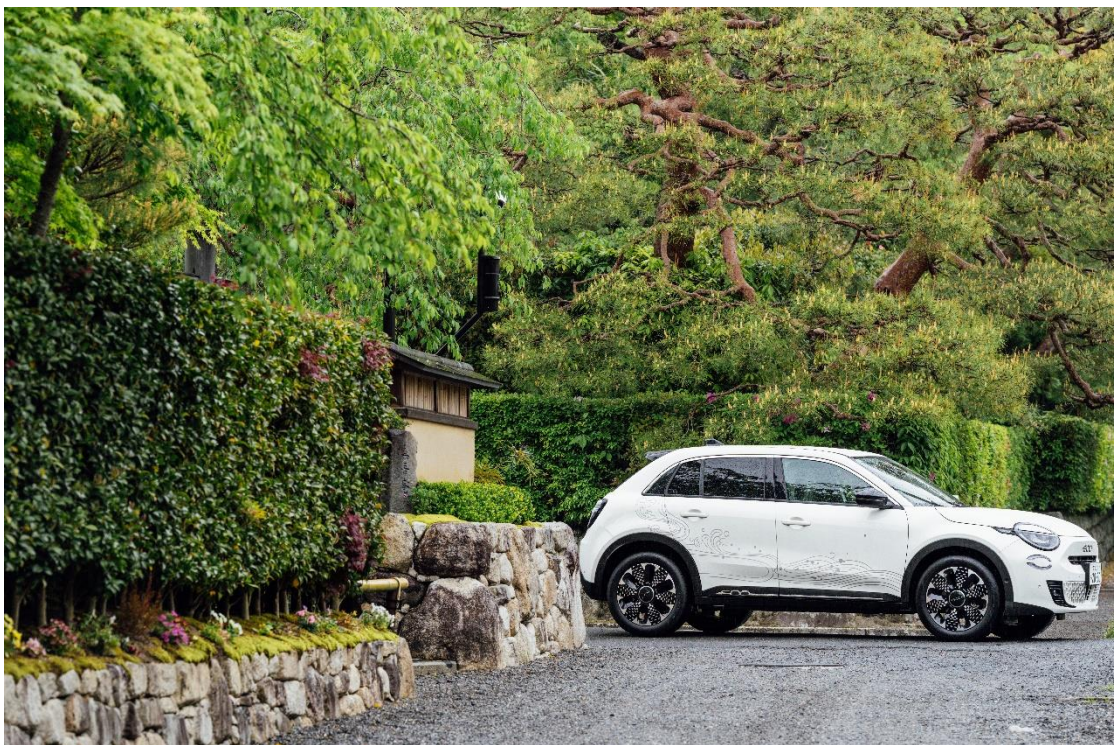


2026年4月27日
Stellantis ジャパン株式会社

Stellantis ジャパン FIAT 600e を京都市公用車として寄納

- FIAT 600e を環境先進都市である京都市の公用車として寄納
- ホワइटのボディに「波」モチーフを施した、京都市公用車専用の特別デザイン
- 昨年京都市とフィレンツェ姉妹都市 60 周年、今年に日伊国交樹立 160 周年を記念



Stellantis ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：成田 仁）は、フィアットの電気自動車 FIAT 600e（フィアット セイチェント イー）を、京都府京都市の公用車として寄納しました。これに伴い、2026年4月24日、京都市役所（京都市中京区）にて寄納式が執り行われ、京都市長 松井 孝治氏、在大阪イタリア総領事館 総領事 フィリッポ・マナーラ氏、株式会社大黒商会 代表取締役 井上 雅文氏、そして Stellantis ジャパン株式会社 代表取締役社長 成田 仁が出席しました。

式典は日伊両国の国旗の掲げられた正庁の間にて行われ、成田から目録を松井市長にお渡ししました。そして松井市長からは感謝状の贈呈が為されました。



車両寄納の背景

京都市は、2025年にイタリア・フィレンツェ市と姉妹都市提携60周年の節目を迎えました。両市は文化・芸術・学術など多岐にわたる分野において交流を重ねています。さらに、2026年は、日本とイタリアの外交関係樹立160周年にあたる節目の年でもあり、両国の関係は一層の深化を続けています。これを記念し、イタリアの国民車として長い歴史を有するFIATの電気自動車FIAT 600eを京都市公用車として寄納します。

環境先進都市である京都市

京都市は、2004年に全国で初めて地球温暖化対策に特化した条例を制定し、2019年には「2050年までに二酸化炭素（CO₂）排出量正味ゼロ」を目指すことを表明するなど、日本を代表する環境先進都市として、長年にわたり持続可能な都市づくりを推進してきました。Stellantis ジャパンは京都市のこうした先進的な取り組みと歴史的な歩みに深い敬意を表するとともに、環境先進都市として持続可能な社会の実現を目指して、市民の現在と未来の生活に寄り添う京都市の価値観を共有します。

「FIAT 600e La Prima」

ベース車両である「FIAT 600e La Prima（ラプリマ）」は、イタリアンデザインと電動技術を融合させたコンパクトSUVとして、環境性能と高い実用性を兼ね備えています。電動パワートレインによる静粛で滑らかな走りは、都市部での効率的な運用と環境負荷低減に貢献し、まさに公用車用途に適しています。また、京都市の道路事情にも適した扱いやすいサイズと良好な視界、十分な航続距離を備える600eは、公務利用においても安心感のある走行性能を発揮します。

京都市公用車専用の特別デザイン「都白地波（みやこしらぢになみ）」

この寄納車には、京都市のために特別デザインを施しました。

ボディカラーのホワイトは、“清浄”や“はじまり”を象徴する色であり、千年を超える歴史の中で文化と革新を重ねてきた京都の美意識を表現しています。

そのホワイトボディにあしらわれたモチーフは「波」。

形を変えながらも絶え間なく続く波のデザインには、伝統を守りながら変化を受け入れ、新たな時代を切り拓いてきた京都の精神性への敬意が込められています。不変と革新という相反する価値を併せ持つその姿は、京都という都市の在り方を静かに映し出します。

さらにリアには、京都市地球温暖化対策条例の愛称である「2050 京（きょう）からCO₂ゼロ条例」のロゴを配置し、環境先進都市として未来を見据える京都市の意志を示しました。電気自動車という選択とデザインコンセプトが一体となり、次の時代へ向かう京都市の姿を内外に発信します。

世界にひとつの特別な FIAT 600e は、京都市の公用車として日常的に使用されることで、市の脱炭素社会に向けた取り組みを市民の皆さまに身近に伝える存在となります。環境負荷低減と高い実用性、そして都市景観と調和するデザインを兼ね備えた本車両が、京都市の進める政策を支え、未永く市民の皆さまに寄り添い、愛される存在となることを願っています。



Stellantis ジャパン株式会社 代表取締役社長の成田 仁は次のように述べています。

「Stellantis ジャパンは、日本の皆さまの日常に寄り添いながら、環境負荷の低減と実用性を両立する多様なモビリティの選択肢を提供することを大切にしています。環境政策の先進都市である京都市の公用車として『FIAT 600e』をお選びいただきましたことを、心より光栄に思います。本車両が、市民の皆さまにとって脱炭素社会への取り組みをより身近に感じていただく存在となるとともに、未来へ力強く歩みを進める京都市の一助となることを願っています。」

Stellantis ジャパンは、フィアット、フィアットプロ、ジープ、プジョー、シトロエン、DS オートモビル、アルファロメオ、アバルトといった多彩なブランドを通じ、日本の市場環境やライフスタイルに寄り添ったモビリティの電動化を進めています。電気自動車をはじめとする次世代モビリティの導入においては、環境性能のみならず、日常での使いやすさやデザイン性、そして走る楽しさを重視し、日本のユーザーにとって現実的で魅力的な選択肢を提供しています。

今後も Stellantis ジャパンは、電動化を含む幅広いパワートレインの選択肢を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、都市と人、文化と未来をつなぐモビリティを日本市場に届けていきます。

以上

問い合わせ先（報道関係者）

Stellantis ジャパン株式会社 広報部

stellantis-japan-pr@stellantis.com（広報部代表）

メディアサイト：<https://www.stellantis.jp/>